科目ナンバリング	U-LAS02 20031 LJ37						
授業科目名<英訳>	言語比較論 I Comparative Language Studies I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　伊藤　克将		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	木3	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

研究発表（ゼミ形式）による。ことばの普遍性・体系性を明らかにすることを目標とする。言語学の諸分野（音論論、形態論、統語論、意味論等の諸領域）を対象に、言語体系の普遍的な法則性を探る。言語体系の法則性・言語変化のメカニズムを探り、そのあり方を解明することを通して、言語の本質に迫る。

[到達目標]

今日の言語学の手法と併せて、言語の理論的考察による種々の成果を踏まえ、言語学の方法論上の問題について考究する力が身に付くようにする。個別言語にとどまらず、言語一般の体系性が把握できることを目指す。

[授業計画と内容]

言語学の諸分野（音論論・形態論・統語論・意味論などの領域）を対象に、言語体系の普遍的な法則性を探るべく考究を進める。履修者の関心に応じて論文を読み進め、言語の理論的アプローチによる種々の成果を踏まえた言語学の方法論上の問題についても考察する。

第１回～第10回　研究発表（ゼミ形式）院生による。
第11回～第13回　研究発表（ゼミ形式）学部生による。
第14回～第15回　まとめ

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

成績評価は授業への参加度（50%）及び学期末レポート（50%）に基づく。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

こちらで用意する教材に関し、授業の前後（予習・復習）に課題を課し、授業時に発表できる準備をしてもらう。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]